

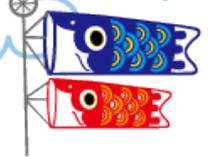


オレゴン便り

5月

発行: 中野壘紀子

2013年



5月になり、スーパーに行くと店頭にはいちごがたくさん並べられているのを目にするようになりました。5月の第2週が、派遣校 Sheridan Japanese School(SJS)の生徒会主催の Teacher Appreciation Week (先生方に感謝の気持ちを伝えようという週)で、保護者から手作りパイなどの差し入れをたくさんいただきましたが、いちごや手作りいちごジャムなどもいただきました。日本語初級の授業では、「毎日」「よく」「ときどき」「あまり」「ぜんぜん」という言葉を使って、何を食べるか、何をするかについて自分のことを表現する学習をしていますが、「(春は)毎日いちごを食べます。」という生徒が何人かいました。いちごの季節ではないときは、「ぜんぜんいちごを食べません。」だそうです。

こどもの日について

派遣校の小学生向けの日本文化の授業で、こどもの日について学習しました。3月3日のひな祭りの学習の際には、女子児童は「女の子の日」だということでも嬉しそうにしていたのですが、今回は、端午の節句「男の子の日」ということで、男子児童が嬉しそうでした。でも、「こどもの日は、男女関係なく、こどもの健やかな成長を願い、祝う日なんだよ。」と伝えると、途端に女の子たちも笑顔になりました。



授業では、新聞紙で兜を折ったり、折り紙で鯉のぼりを作ったり、「こいのぼり」を歌ったりしました。ひらがなとカタカナを一通り学習し終え、ほとんどの子どもたちが書いたり読んだりできるようになったので、歌の歌詞をひらがなで渡しても、自分たちで読んで歌えるようになりました。9月から日本語を学習し始めたばかりの子どもたちが、たったの7ヶ月ほどでここまでできるようになって、その成長ぶりにとても驚かされ、嬉しい気持ちでいっぱいになります。

派遣校の学校行事～春のエキシビション「SJS版 OMSI」～

先月4月25日(木)の午後5時半から、SJSの学校行事「春のエキシビション」が行われました。今年のテーマは「SJS版 OMSI」ということで、ポートランドにあるオレゴン科学産業博物館(OMSI: Oregon Museum of Science and Industry)を参考に科学系の展示発表を行いました。小学生から高校生が縦割りで5～6人のグループを作り、全校生徒88名が15のグループに分けられました。各グループが高校生をリーダー



にして、各々で決めた1つのテーマに基づいてリサーチし、その成果をまとめました。テーマは、「マラリア」「インフルエンザ」「味覚」「聴覚」「テントウ虫」「ホタル」「カフェイン」「光合成」など様々でした。PRビデオも作り、展示物も体験できるものを作るなど、本格的なものに仕上がっていました。当日は多くの方が見に来られ、その完成度の高さに感心しておられました。



富山カップ日本語スピーチコンテスト

4月21日(日)、オレゴン州で日本語を学ぶ大学生を対象にした「富山カップ日本語スピーチコンテスト」が富山県主催でポートランド市内において開催されました。このコンテストは、1996年、富山県とオレゴン州との友好提携が5周年となったのを記念して初めて開催されました。それ以降、毎年ポートランドで行われており、今年で第17回目となります。これまでにのべ200名を超える大学生が参加しているそうです。

当日は私も審査員の1人として参加してきました。今年の参加者は7名と例年に比べ大変少なかったのは残念でしたが、どの参加者もこれまでの学習の成果を発揮し、素晴らしいスピーチを披露してくれました。テーマは、日本に短期留学した際の体験や日本食についてなど様々でしたが、彼らが日本文化や日本語学習が大好きであるということが伝わってきました。今後、日本に留学する予定だという学生もおり、ますます日本語学習に意欲的に取り組んでいただき、将来ぜひ、富山県とオレゴン州との友好関係の促進にも活躍していただきたいと思いました。今回のコンテストで優勝した1名は、副賞として今年の秋、富山県に研修旅行に行くことになっています。入賞された皆さん、おめでとうございます。

《2013 富山カップ日本語スピーチコンテスト結果》

レベル1

- 第1位 ローレン・イナバ (リンフィールド大学)
- 第2位 ベレン・ジミネツ (ルイス&クラーク大学)
- 第3位 カイラ・リストン (リンフィールド大学)

レベル2

- 第1位 ブライアン・タカノ (リンフィールド大学)



スピーチ中の様子



参加者と大学の先生方



優勝したタカノさんと
古沢総領事と一緒に



4大学合同日本語専攻者卒論発表会～Senior Seminar～

4月28日(日)、ルイス&クラーク大学で日本語専攻の大学4年生による卒論発表会が、近隣の4大学合同で行われました。ルイス&クラーク大学、リンフィールド大学、パシフィック大学、ウィラメット大学の私立4大学で、4年前から始められた発表会だそうです。富山カップスピーチコンテストで知り合いになった大学の先生方からお誘いを受け、発表会を見に行ってきました。卒論の研究内容について10分ほどでスライドを用いて発表する形式でしたが、発表を聞いていると、私以上に日本について知っている学生さんもたくさんおられました。自分にとっても、日本について再発見するよい機会になりました。また、ほとんどの学生さんたちは英語での発表でしたが、中には日本語で発表された学生さんもおられて、とても感心しました。



派遣校の校長先生の富山訪問

派遣先の校長ミューラー先生が、5月上旬に富山県を訪問され、私の所属校である高岡南高校や富山県庁国際・日本海政策課へも訪問されました。特に高岡南高校では、大場校長との面談後、授業や清掃、部活動の見学のほか、人文科学コースの生徒との交流の機会もあり、外国語や異文化を学ぶ意義について話をしてくれました。ミューラー校長にとって初めての日本訪問でしたが、日本の公立学校の様子をじかに見ることができて、とても良い経験になったと言っておられました。南高校でたくさんの写真を撮ってこられたそうで、近々、SJSの生徒向けに日本の公立高校について、校長自身がプレゼンテーションをされる予定になっています。



オレゴンでは最近、気温が30度近くまで上がる日もあり、春というより夏という感じもします。私のホームステイ先では今、たくさんの花が咲いています。先日は、ホストファミリーが私をポートランド郊外にあるつつじの庭園にも連れて行ってくれました。美しい、色とりどりの花を見てみると、心がとても明るくなります。

アメリカの学校は6月中旬から9月上旬までという長い間、夏休みに入ります。子どもたちの会話の話題も、どのサマーキャンプに参加するか、どこに旅行に行くかなど、夏休みの予定に関するものが多く聞かれるようになりました。来月号では、夏休みに入る前の学校の様子についてお伝えしたいと思います。



昼休みのSJSのグラウンド



ポートランド郊外にあるつつじの庭園



ホームステイ先の庭に色とりどりに咲き誇る花々

